

## 地域の防犯に役立ちたい

福岡中学校・PSCパトロール太鼓隊に感謝状

1月18日、福岡中学校2年生の高橋佑奈さんと松野吉之教諭が市役所を訪れ、「PSCパトロール太鼓隊」が白石警察署から感謝状を受け取ったことを風間市長と武田教育長に報告しました。太鼓隊は、毎年、「全国地域安全運動」の出陣式で太鼓の演奏を披露。深谷小学校出身の生徒たちで構成され、同校で学んだ太鼓の腕前を活かし、活動しています。「PSCパトロール」には、白石・福岡・東・南の4中学校が参加。事故防止などの取り組みを自ら企画し、安全で安心なまちづくりを目指して、地域の防犯活動に協力しています。



▲左から松野教諭、「太鼓隊」隊長の高橋さん

## 冬の白石あったかツアー

南三陸町子どもたちを招待



▲冬の白石を楽しみました

2月4日・5日の両日、東日本大震災の津波で大きな被害を受けた南三陸町の小学生以上の子どもがいる家族8組21人を招待し、「冬の白石あったかツアー」を開催しました。4日は、白石スキー場でスキーを体験したり、スパッシュランドしろいしで「大鷹沢子ども太鼓」の子どもたちと一緒に太鼓を叩いたりして交流。5日は、白石城や「ドラえもんショー」を見て楽しみました。参加した子どもたちは「スキーは初めてですが、とても楽しかったです」「太鼓を力一杯叩いて気持ち良かったです」と笑顔で話してくれました。

## 巨大絵札をつかまえて!

白川小学校で「第35回動くジャンボカルタ取り大会」

1月26日、白川小学校の伝統行事「動くジャンボカルタ取り大会」が同小の校庭で開催されました。今年で35回目を迎えたカルタ取り。全校児童68人が縦割りで4つのグループに分かれ、縦54センチ・横39センチの巨大絵札を追い掛け得点を競いました。今年のテーマは「植物」。「七草で おかゆを食べて かぜ知らず」など、44種類の読み札と絵札を5・6年生が中心となり、全校児童が協力して約2カ月かけて作成しました。この日は雪積もる寒空の中、絵札を背負う児童も追い掛ける児童も、寒さに負けず真剣に、そして、笑顔で走り回っていました。



▲カルタ取りには来年度入学予定の保育園・幼稚園の園児も参加

## 成人おめでとう! 自分の行動に責任を持って!

白石市手をつなぐ育成会・成人を祝う会



▲新成人を囲んで記念撮影

1月15日、障がいを持つ子どもとその家族でつくる「白石市手をつなぐ育成会」(巨泉猛会長)が、成人を祝う会を中央公民館で開催し、新たな門出を祝いました。新たに大人の仲間入りをしたのは、堀内早紀さん、跡部佳菜さん、尾形美樹さん、佐藤和行さん、今野翔平さんの5人。この日は、5人から新成人としての抱負や両親への感謝の言葉が披露されたほか、障がいを持つ子どもたちを中心としたダンスユニット「ちゃれんじど」によるダンスや、白石中学校の生徒による白中ソーランなどもあり、みんなで成人を祝いました。

## 自分の一生を大切に!

白石工業高校で「薬物乱用防止教室」

2月8日、白石益岡ライオンズクラブ(箱崎睦会長)主催の「薬物乱用防止教室」が白石工業高校で開催されました。この活動は、若い世代に薬物に対する理解を深めてもらおうと、同クラブが平成19年から小中学校や高校で開催。この日は、講師の富岡和弘さんが同校の2年生の生徒や教員など約250人を前に、薬物乱用の恐ろしさなどをビデオやスライドで分かりやすく説明。参加者は熱心に耳を傾けていました。同教室は、学校や団体からの申し込みを受け開催されています。詳しくは、仙南保健所(☎0224-53-3119)にお問い合わせください。



▲薬物乱用の恐ろしさを熱心に話す富岡さん

## 大きな声で「のこった~!」

放課後児童クラブ「紙相撲大会」



▲いつ倒れるか分からないドキドキ感でいっぱい

2月9日、第一児童館放課後児童クラブの「紙相撲大会」千秋楽が同館で行われました。この大会は、室内遊びが多くなる冬の間、一人一人が工夫しながら遊べるように平成18年からスタート。オリジナルの力士を作り、直径22センチの土俵で競いました。1月17日からの総当たりの結果、幕下は渡辺快くん(福岡小1年)の「かつまる」、幕内は佐々木玲海さん(白石第一小4年)の「ガンバリゆう」が優勝しました。この日は、大鷹沢出身の横綱・大砲萬右衛門(1869~1918)の羽織や足袋も披露され、子どもたちは「大きい」と驚いていました。

## 和楽器に親しみながら楽しい時間を過ごす

白川保育園で「津軽三味線を聴く会」

2月8日、市内在住の津軽三味線奏者・小野越郎さんによる「津軽三味線を聴く会」が、白川保育園で開催されました。この日は、劇団わらび座で小野さんと活動をともした篠笛・尺八奏者の紫竹芳之さんが東京から駆け付け、園児や保護者など約80人を前に『雪』などおなじみの曲を次々に披露。園児たちは、「ゆ〜きやこんこ」と一緒に口ずさむなど楽しい時間を過ごしました。小野さんは、各地の伝統芸能を基に新たな舞台芸能を創造する「和力」などでも活躍。東日本大震災以降は、気仙沼市などを訪れ、和楽器の力で元気を届けています。



1\_演奏に合わせて口ずさむ児童たち 2\_演奏を披露する左から紫竹さんと小野さん

## 自分で考え、自分で作る遊びを学んで

第二幼稚園で「昔遊びの会」



▲楽しみながらカルタ取りをする園児たち

1月25日、昔遊びを通じて地域住民と交流を図る「昔遊びの会」が第二幼稚園で開催されました。この日は、南町の「ボランティアみなみの会」(佐竹達雄会長)の皆さん17人と園児たちが、はねつきやこま回し、お手玉、カルタ取り、折り紙などを楽しみました。園児たちは、同会の皆さんに教わりながら挑戦。だんだんできるようになると、教えられたことだけではなく、自分で工夫して遊びを考え出す園児も。今年で22年目を迎えた交流に、佐竹会長は「子どもたちには自分で考えて作る遊びを学んでほしい」と話していました。